

3 伊藤 理恵 さん Rie Ito

起

北勢

特定非営利活動法人 マザーズライフ
サポーター（鈴鹿市）理事長

事業所

住所：三重県鈴鹿市稲生 3-8-2

URL：http://motherslife.info

社員数：20名

業種

子育て支援



Profile

- ・大学で社会福祉を学び、広告代理店に就職
- ・妊娠を機に退職し、孤独な育児を経験
- ・孤立するママを救うためサークルを結成
- ・ママとの協業企業は200社を超える

講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他（ソーシャルビジネス）

講演実績

- ・2018年「子育ても仕事でも自己実現を」（日本福祉大学）
- ・2018年「ママだから気になる安全な農」（名城大学）
- ・2018年「女性が活躍できる社会を作るには？」（日本福祉大学）

「私の使命」

孤立するママを社会の輪に入れる活動

「就労経験がなくても、1時間しか働けなくても仕事できます！」。伊藤さんは地域のママに広く呼びかけます。設立したNPO法人『マザーズライフサポーター』の主な事業は、ママが休息できるカフェの運営／親子お出かけ情報誌の発行／企業とタイアップしたイベント開催／事業者の依頼に応える“ママの業務請負”など。そこから派生して、託児／清掃／企画／経理など多彩な業務が発生しています。

活動を支援する協業企業は約200社。“我が町にも取組を導入したい”と熊本県、福岡県、秋田県、静岡県など12の地域が名乗りを上げています。“ママの力を企業に供給するNPO”として、伊藤さんのアイデアは各方面から注目を集めています。

ママが社会に褒められ、認められるために

学生時代は社会福祉を専攻。「虐待児を救いたかった。でもいざ自分が母になると、虐待に共感できる気がしてぞっとした」。子どもの環境改善には、“ママが褒められること・認められること”が不可欠と伊藤さんは考えました。ママによる業務請負は、そんな社会問題の解決を目指す取組の一つ。「人材派遣業者ではママ労働者は失敗できませんが、うちのNPOはそうではありません。

ママ労働者への事前教育は最低限。教育を含めて、企業に委ねます。これにも伊藤さんの体験が影響しているとか。「社会に出ると、思いのほか“あなたを育ててあげたい”と思ってくれる志の高い人に出会えます。そんな人にぜひ出会って欲しい、そして刺激を受けて欲しい」。

私流リーダーシップ

ママの知恵袋を寄せ集め企業へ提供

「ママはたくさんの知恵と人脈を隠し持っています。それらはもっと活用されるべき」。同NPOは、企業とママの協業で大小40の事業請負プロジェクトを現在進行中。例えば農作物の収穫・袋詰め／小売店での品出し／新商品開発／会員ネットワークの構築など。

現在、伊藤さんが注力しているのが「北九州の小売業さんからの依頼で“おんぶ紐ワークウェア（労働着）”を開発しています！」。もうすぐ伊藤さんの手を離れ、分社化予定の事業もありました。スーパーの生鮮食品売場に“ママがセレクトした産直野菜コーナ”を設置運営する『mamma（マンマ）』事業。「産直で8%の利益を出しています」これは業界標準を大きく上回る利益率といえます。

サークル活動からママ社長が誕生！

『mamma』が分社化すると、1人のママ経営者が生まれることに。同NPOで進行中の大小プロジェクトには、それぞれに経理や企画担当を配置しており「プロジェクトが商業化可能と分かれば、新しい会社を興します。切り分けの際もスムーズです。キャリアが一度途絶えたママが会社経営者になれるなんて、素敵でしょう？」。

一方、就労初心者ママは小さなプロジェクトに参加。気負わず始められ、無理なく成長できるといいます。「小さく生んで大きく育てる。子育てと同じです」。伊藤さんの目下の悩みは「世の夫に全く理解してもらえない！」。会社ではなく“事業”に所属する新しい働き方の浸透を願い、伊藤さんは東奔西走します。

（取材時：2018年8月）

こんな講演・相談に対応できます

- 子育て支援のビジネスモデル
- 企業にママの力、導入事例
- ソーシャルビジネス事業紹介
- 産直運営・安全な農について

お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課

TEL：059-224-2225

WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは
ここから

